

経営コンサルティングの時流予測

日大生産工 ○齋藤柊一 山本壽夫

1、はじめに

経営コンサルタントとは「企業の様々な経営上の課題を明らかにし、解決する助言をする」職業とされている。端的に言うと「クライアントをいかに儲けさせるか」である。

近年、経営コンサルタントと呼ばれるプロフェッショナルサービスが隆盛し、存在感を増してきている。その背景には、コンサルタントとは必須の資格というもの無く、自らコンサルタントであると名乗れば誰でもなれる事や、2008年サブプライムローン問題を皮切りに2011年の東日本大震災など日本経済に大きな影響を与え、日本経済が悪化し不安定となってきたことが影響している。昔のコンサルティングと今のコンサルティングを比べることで、これからのコンサルティングはどのように変化していくのかを研究していく。日本の99%が中小企業であるため、市場規模の大きい中小企業向けのコンサルティングに焦点を絞り、未来のコンサルティングのあり方を示す研究をおこなう。

なお、本研究における仮説の検証は、ケーススタディ方式にて行う。

2、現状の分析

現状の分析として、経営コンサルタント企業の推移及び経営コンサルタントの利用社数や成り立ちを使い、次の分析内容を表すことができる。

2, 1 経営コンサルタント企業の推移

帝国データバンク産業調査部の調査によると、2008年から2012年における経営コンサルタント企業の推移は表1の様になっている。表1 2008年-2012年、売上高分別、経営コンサルタント企業の推移⁽¹⁾

	2008	2009	2010	2011	2012
1億円未満	309	430	579	700	867
1億円_3億円未満	269	307	334	389	399
3億円_5億円未満	109	104	107	104	114
5億円_10億円未満	77	82	81	79	100
10億円_15億円未満	25	31	34	37	32
15億円_20億円未満	19	19	14	13	18
20億円_30億円未満	19	18	19	17	19
30億円_50億円未満	13	13	13	13	11
50億円_100億円未満	14	15	12	14	15
100億円_300億円未満	5	4	3	3	4
300億円_500億円未満	1	1	1	1	1
500億円_1000億円未満	1	1	1	1	0
1000億円_10000億円未満	0	0	0	0	1
不明	0	19	30	21	21
総計	861	1,044	1,228	1,392	1,602

(出典)急成長する経営コンサルタント業－帝国データバンク-2014年1月6日版を参考に作成

<http://www.tdb.co.jp/report/specia/pdf/140101.pdf>

上記表1から、次の内容を表すことができる。

- ①2008年から2012年にかけて経営コンサルタント企業は増加している。
- ②も増加率が高かったのは売り上げ1億円未満の企業である。
- ③08年から2012年までの総数の推移は、741社増加し、86.06%の増加となる。
- ④加率の高かった売り上げ1億円未満の企業は180.58%増加し、次点の1億以上3億未満の企業は48.32%増加した。

2,2 産業大分類別経営コンサルタント利用企業数

表2 2008年—2012年の産業大分類別経営コンサルタント利用企業数⁽¹⁾

anagement Consulting of Bandwagon Prediction

Shuichi SAITO, Hisao YAMAMOTO

	2008	2009	2010	2011	2012
農業	0	0	0	4	11
林業、狩猟業	0	0	1	1	1
鉱業	0	1	2	2	3
建設業	54	118	147	193	238
製造業	237	453	581	669	781
卸・小売業、飲食店	273	533	690	821	1,004
金融・保険業	92	137	167	194	223
不動産業	61	108	142	170	203
運輸・通信業	39	65	90	120	133
電気ガス水道業	13	18	25	27	22
サービス業	343	732	975	1,246	1,542
公務	36	55	74	92	113
総計	1,148	2,220	2,894	3,539	4,274

(出典)急成長する経営コンサルタント業
－ 帝国データバンク-2014年1月6日版を
参考に作成

<http://www.tdb.co.jp/report/specia/pdf/140101.pdf>

上記表2より次の内容が表せる。

- ①008年から2012年にかけて経営コンサルタントを利用する企業は増加している。
- ②増加率が高いのはサービス業である。
- ③008年から2012年までの利用社の推移は、3126社増加し、272.29%の増加となる。
- ④加率の高かったサービス業は349.56%増加し、卸・小売業、飲食店は267.76%増加した。

3.現状から考えられる時流予測

表1表2より現在経営コンサルタントの需要と供給が急激に上昇していることがわかる。

表1から売り上げ1億円未満の経営コンサルタント企業の増加が目立っている。これは新しく経営コンサルタント企業が数多く設立しているからと推測される。

多くの経営コンサルタント企業が起業されて

いる背景には、2008年のサブプライムローン問題から始まった景気の悪化が原因の一つだと考えられる。景気悪化により経営不振になった企業が、経営コンサルタントを頼ることで需要が高まり、経営コンサルタント企業の数が増えたと推測される。その中でも サービス業による経営コンサルタント企業利用数は急激に上昇しており市場規模が大きくなっていることが表2よりわかる。

4.対策

現在増え続けている顧客としてサービス業を挙げられる。そこでサービス業に特化したコンサルティングを行えばより多くの顧客と契約することができると考える。

5.これからの研究

今回の研究でこれから経営コンサルタントを利用する頻度の高い業界がわかったため、その業界へ向けてのコンサルティングの方法や、戦略を立てることで未来のコンサルティングのあり方を示していく。

6.まとめ

本研究は私、齋藤が来年から経営コンサルタント企業に勤めることになったことにより、少しでも業界について学んでおこうと思ったことがきっかけで取り組みを始めた。

本研究についてご指導を賜りました山本壽夫先生に心より感謝申し上げます。

(注)

(1) 帝国データバンク,急成長する経営コンサルタント業-2014年1月6日版-,P5

<http://www.tdb.co.jp/report/specia/pdf/140101.pdf>

(2)業界動向 SEARCH.COM -コンサルティング業界

<http://gyokai-search.com/3-keiei.html>